



「じんけん」ぽん (2015.11/No139)

第2回柏市自立支援協議会

発行日 2015/11/10

社会福祉法人生活クラブ
柏市地域生活支援
センターあいネット
〒277-0004
柏市柏下65-1
ウェルネス柏内
電話：04 (7165) 8707

目次	
第2回柏市自立支援協議会	1
かしわ権利擁護センター運営委員会	2
千葉市里親制度推進シンポジウム	2
あいネット就労支援準備室より	3
印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会設立総会	4
お知らせ	4

ひとこと

寒暖の差が激しくて、体調管理に四苦八苦しています。

街でも職場でも、マスク姿の方が増えてきましたね。

冬に備えて、おいしいものをいっぱい食べたいと思います。



第2回柏市自立支援協議会が開催されました。

今回の全体会では、新委員の紹介から始まり、

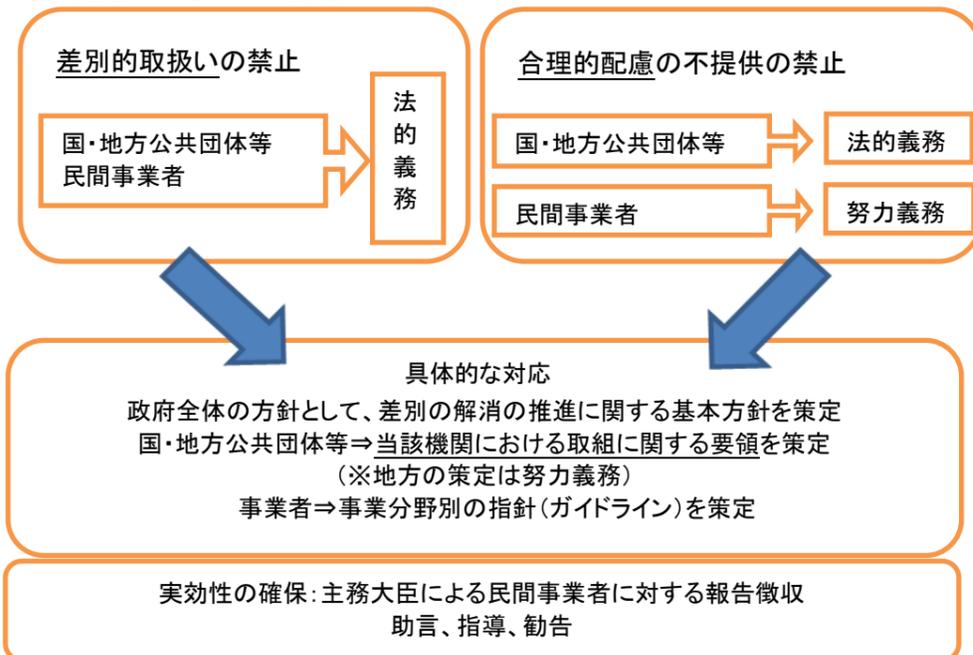
- ① 各部会等報告…相談支援部会、はたらく部会、こども部会、権利擁護部会、グループホーム等連絡会
- ② 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について
- ③ 地域生活支援拠点事業について
- ④ 就労支援事業について
- ⑤ 第三期障害福祉計画実績報告
- ⑥ 計画相談支援・障害児相談支援の進捗状況及び対応について

などがありました。

今回は②についてのみ市の説明を抜粋して触れていきたいと思います。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」は、H25.6/26に公布・一部施行され、H28.4/1に全体の施行があります。

(1) 差別を解消するための措置



(2) 差別を解消するための支援措置

- <紛争解決・相談>:
相談・紛争解決の体制整備⇒既存の相談、紛争解決の制度の活用・充実
- <地域における連携>:
障害者差別解消支援地域協議会における関係機関等の連携
- <啓発活動>:
普及・啓発活動の実施
- <情報収集等>:
国内外における差別及び差別の解消に向けた取組みに関わる情報の収集、整理及び提供

市の報告では、事業者向け、市民向け、市民・事業者向け、市職員向けに差別的取扱い・合理的配慮の事例収集及び啓発活動を実施しているとの事。現在、自立支援協議会の権利擁護部会でもこの法律については大きなテーマになっており、障害者差別解消支援地域協議会については、在り方検討会を実施する予定になっています。

「差別的取扱い」といっても、事業者や市民・当事者ではそれぞれ受け取り方や感じ方に差異があるのではないかと意見も出されました。出来るだけ分かりやすく、丁寧にこの法律が周知されていく必要があると感じました。



かしわ権利擁護センター運営委員会



10月20日にかしわ権利擁護センター運営委員会の総合相談支援部会が開催されました。

今回の議題は「生活困窮者自立支援と貸付制度の見直し等について」でした。生活困窮者は家賃や公共料金を滞納しており、相談時には切羽詰まった状況が少なくありません。相談者の自立を支援していく前にまずは「住まいやライフラインの確保」に取り組まなければならない事もあります。しかし、必要な資金を借りられる制度もなく、本来の自立支援をなかなか開始出来ない状況がありました。

そういった状況の中で、運営委員会の中で現行の柏市社会福祉協議会が行っている貸付制度(福祉資金)の一部見直しとセーフティネット基金を活用した新たな支給制度の創設(案)が提示され、委員で話し合いが行われました。

参加した委員からは、「(貸付制度を活用した際に)自分で返さないといけない事を自覚する事が必要であり、貸す段階で本人の覚悟をどう作るか」「ますます(貸付や支給制度)に依存する人を増やしてしまうのではないか」等、活発な意見交換がありました。

生活困窮者からあいネットに寄せられる相談は緊急切迫した状況である事は少なくありません。今回の貸付制度の一部見直しと新たな支給制度の創設(案)は生活困窮者が喫緊でどうしても必要な生活再建のための資金であると感じます。しかし、委員からは「いかに貸付をしたお金をきちんと返済してもらえるか」との意見もあり、課題も提示されました。

返済を担保していく為に、貸付を行う際には、社会福祉協議会の金銭管理制度(日常生活自立支援事業)や生活困窮者支援事業で実施している家計相談支援事業をセットで利用する等、社会福祉協議会とあいネット(自立相談支援事業)がケースごとに協議し、連携をしていく必要があると感じました。



千葉市里親制度推進シンポジウム 「聞こう!知ろう!つなげよう! 子どもの未来…」

2015年10月12日(月)13:30～ NPO法人ちばこどもおうえんだん主催で、千葉市里親制度推進シンポジウムが開催されました。NPO法人ちばこどもおうえんだんは、千葉県内のさまざまな困難を抱えている子どもの支援をするために、2015年4月に設立され、7月には千葉市の里親制度推進事業業務委託団体として選定されました。千葉市と共に里親制度の普及啓発活動に取り組まれています。

今回のシンポジウムも、里親制度を広く知ってもらうことを目的に開催されました。まずは基調講演として、福岡市こども総合相談センター所長の藤林武史様より「里親制度の推進～福岡市の場合」というテーマで、福岡市における里親制度の普及啓発活動についてお話いただきました。最近の報道等により、虐待という事には関心が高まっていますが、保護された後、子どもたちや親たちがどういった支援を受けていくのか、どういった課題があるかなどについては、まだまだ知られていない事も多いです。福岡市の事例等をいろいろ伺うことで、現状や課題などを考える事ができ、大変有意義な時間となりました。

次いで、養護施設の方、里親の方、里親を支援する方が加わり、パネルディスカッションが開催されました。活発な議論が交わされる中、印象深かったのは、「家庭を知らない子どもたちも大人になって家庭を作っていく」「人として生まれてきてよかったと思える」ために、それぞれの立場の方たちが日々支援にあたられているということでした。

里親になるというだけでなく、里親になった人を支援する事や、里親家庭のお子さんを支援をする、あるいは里親家庭を支援する団体等を支援するなど、自分たちにもいろいろな事が出来るので、もっと関心を持って考えていきたいと感じられました。



あいネット就労準備支援室より

就労準備支援室からは、就労についての情報をお届け致します。講座にもぜひご参加ください。



履歴書記入の注意点 No.1

こんな志望動機はダメ!!

- ×「御社の製品のファンだったので」
新卒採用の学生などに良く見られますが、新卒でもこの程度の理由では採用されません。「これからうちの製品をお使いください」と思われるだけです。
- ×「未経験ですが、仕事を通して成長したい」
企業が中途採用を実施するのは、即戦力となる人材を必要としているからです。時間をかけて成長するなどという悠長な状況ではありません。未経験でも前職の経験を生かせるというアピールが必要でしょう

こころを健康に保とう! No.2

ストレスをためない生き方

ストレスと上手につきあうには、まず毎日の生活習慣を整えることが大切です。バランスの取れた食事や良質の睡眠、適度な運動の習慣を維持することが、健康の基礎固めになります。

また、ストレスがたまったときの対策として、リラックスできる時間を日常生活の中にもつことも大切でしょう。ゆっくりと腹式呼吸をする、ぼんやりと窓の外を眺める、ゆったりお風呂に入る、軽く体をストレッチする、好きな音楽を聴くなど、気軽にできることをまずやってみましょう。お酒を飲んでつらさを紛らわせようとするのは、睡眠の質を低下させ、うつ病等のこころの病気を引き寄せます。

(厚生労働省「みんなのメンタルヘルス」より)



今月の講座案内

講座受講希望の方は日程調整いたします。ご連絡ください。

コミュニケーション講座

面接の模擬をしたり、気持ちが楽になるコミュニケーションの方法をお伝えします。ワークを通してスキルを高めましょう!

キャリア講座

自分を振り返りながら、仕事についても考えてみましょう!

パソコン講座

Word・Excelを通してパソコンの基本的な操作を覚えられるようお手伝いします。マンツーマンが基本ですので、ご自分のペースで練習する事ができます。

職場体験

ディサービス「あじさい」で高齢者が自立した生活ができるようお手伝いをします。車で送迎します。昼食代500円頂きます。



この講座は、生活困窮者自立促進支援法に基づく支援を利用されている方に向けてのプログラムです。対象ではない方で利用希望の方は電話でご相談ください。

印旛地域生活困窮者自立支援事業 ネットワーク協議会設立総会



10月13日にミレニアムセンター佐倉にて、印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会設立総会に参加しました。

基調講演でNPO法人「抱樸」の理事長の奥田知志様から、「助けてと言える社会を目指して」という題目で九州における生活困窮者支援の実情をお話しいただきました。その中でホームレス問題の困窮状態には2つあり、経済的困窮のハウスレスと社会的孤立のホームレスがある。困窮・孤立者に対するの伴奏型支援が必要であり、社会への参加と自立のためにも社会参加型の就労訓練支援が必要であると仰られていました。

その後、印旛地域の各自治体から、4~8月までの実績報告がありました。成田・佐倉・四街道・八街・印西・白井・富里・栄町、酒々井町でも、就労準備や訓練事業やそこまでの準備のための居場所の必要性を各自治体を感じているようでした。また、出口である就労先の開拓やその後の定着にも課題があるという事でした。

柏市では、任意事業である、就労準備支援事業、家計相談事業を実施しております。印旛地域と同じような課題を感じておりますが、各地域で検討している計画などが柏でも生かすことが出来ないかを考えて、より効果的な支援になるようにしていきたいと思いをしました。

お知らせ

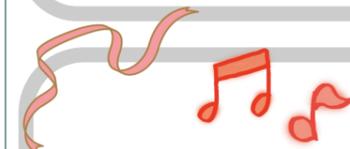
こちらのコーナーへ掲載希望の方はあいネットまで
(TEL: 04-7165-8707 FAX: 04-7165-8709)



ちばユニバーサル農業フェスタ2015



日時:平成27年11月23日(月・祝)10:00~15:00
 会場:四街道市文化センター(駐車場・広場・館内)
 参加費:無料 ただし農業体験やワークショップ参加には別途参加費必要
 申込み:「こんにやくづくり」事前申込は、11月4日(水)9時30分~
 四街道市みんなで地域づくりセンター 電話043-304-7065(日・月・祝休館)
 問合せ:四街道市みんなで地域づくりセンター
 電話 043-304-7065 FAX 043-422-7051



心の健康フェア2015 in ちば



日時:平成27年11月25日(水) 10:00~15:00
 会場:青葉の森公園 芸術文化ホール
 参加費:無料
 主催:NPO法人千葉県精神保健福祉協議会
 問合せ:心の健康フェア実行委員会
 千葉県精神保健福祉協議会
 電話080-7000-2093
<http://chiseikyo.mdn.ne.jp/>

プログラム
 解説「統合失調症について」講師 石川 真紀
 (千葉県精神保健福祉センター医師)
 当事者からのメッセージ
 「私の[自分らしさ]イチ押しメッセージ」
 式典「精神保健福祉功労者表彰」
 講演「統合失調症がやってきた」
 講師 松本ハウス(サンミュージック所属)
 作品展示